

大阪南医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 関節リウマチ患者における骨粗鬆症治療薬の有効性、安全性の検討

[研究責任者] 臨床研究部 免疫異常疾患室長 磯田 健太郎

[研究の背景]

関節リウマチは関節滑膜を主座とする炎症により関節破壊を引き起こす慢性疾患であるが、高率に骨粗鬆症を合併することが知られている。骨粗鬆症が原因となる骨折は、生活の質や生命予後も悪化させる重大なイベントである。粗鬆症の治療薬には様々な作用機序のものがあるが、関節リウマチ患者におけるそれらの有効性や安全性は十分に調査されていない。また、骨粗鬆症治療薬の効果に影響を与える因子（年齢、性別、RA 活動性、治療薬剤など）についても未だに解明されていない部分が多い。

[研究の目的]

関節リウマチ患者における骨粗鬆症治療薬の効果を高めるため、様々な骨粗鬆症治療薬の有効性、安全性を検討するとともに、それらに与える影響因子についての調査すること

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院で治療を受けている関節リウマチ患者さんで、西暦 2022 年 6 月から 2023 年 3 月の間に骨粗鬆症治療薬による治療を受けた方

●研究期間：西暦 2015 年 1 月～2027 年 3 月

●利用するカルテ情報

カルテ情報：

診断名、年齢、性別、身体所見、血液検査結果、骨密度検査（DXA 法）など

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発

表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である磯田健太郎が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構大阪南医療センター

* 当院の責任者の所属部署、氏名を記載して下さい

電話 0721-53-5761 FAX 0721-53-8904